

令和4年度茨城県福祉団体等支援事業費補助金対象事業

「どうして、まわりとうまくいかないの？ピアニスト野田あすかと母の40年」

主催 茨城LD等発達障害親の会星の子 後援 茨城県教育委員会 土浦市教育委員会 茨城県社会福祉協議会
講演会とミニ演奏会 開催のご報告



発達障害を抱えるピアニスト野田あすかさんとお母様の恭子さんをお呼びし、令和5年2月11日(土)午後1時半より県南生涯学習センター多目的ホールで上記の講演会とミニ演奏会を開催いたしました。

星の子主催の大きな講演会は6年ぶりです。前日の雪混じりの悪天候が信じられないくらいの見事な晴天！定刻に講演会は開始されました。



第1部

「どうして、まわりとうまくいかないの？
ピアニスト野田あすかと母の40年」

講師 野田恭子さん

あすかさんが22歳で発達障害と診断されるまで、悩み、傷つき、悔しい思いをしてきた経験や、乗り越えてきた様々な試練、音楽との出会いやこれからのことなどありのままのお話は、これまでの私たちの経験が重なり涙なしでは聞けないものでした。どんなに厳しい状況でもあすかさんの幸せを願い支えるその姿に感動と希望を感じました。

第2部

ミニ演奏会 演奏 野田あすかさん

あすかさんの奏でるピアノは透明でやさしく聴衆の心を一瞬でやさしく包んでいきます。演奏前に1曲1曲ご自身の思いをお話し下さり熱い思いが伝わりました。あすかさん作詞作曲の手話歌「手紙～小さいころの私へ～」は、日頃苦しんでいる子供たちと支える私たちの励みだと思います。森山直太朗さん作曲ピアノアレンジ「生きてることが辛いなら」はもう涙涙。こんなに重い日常を送っている私たちの深い傷が癒されることってあるのでしょうか。そんな演奏でした。あっという間に時は過ぎ、あすかさん、星の子 Shining Stars、Spring of Grace Gospel Choir(ゴスペルクワイア)のスペシャルコラボ合唱「ココロノイロ」です。あすかさんの伴奏で合唱するという夢のような時間。あすかさんの伴奏は明るく軽やかで一緒に幸せになろうよと語りかけて頂いているようでした。



この企画を提案した2年ほど前、星の子主催の演奏会は経験がなく、手探りの中、役員はじめ会員の皆さんにいただいたエールを思い出します。星の子総会で講演会開催が可決され、6名の実行委員会を立ち上げ講演会の成功を目指して頑張ってきました。チラシの完成と同時、多くの会員の皆さんに配布をお願いし、ついに申込の受付開始です。前日まで悪天候にやきもきし、当日最高の青空を見上げ無事開催できるとやっと安堵しました。今回150名のご参加の皆さんとともに素晴らしい講演会とミニ演奏会ができたこと感謝の気持ちでいっぱいです。牛久市内で活動中のSpring of Grace Gospel Choirの皆さんには合唱練習(つくば市内交流センターや恵泉キリスト教会みどりのチャペル)、音源、伴奏と何から何までご協力いただきました。講演会終了後は、すぐにご参加の皆さんより心のこもった感想が続々と寄せられました。この講演会や演奏によってもたらされた感動を胸に、助け合い支え合い、厳しい日々も希望を忘れず歩んで行きましょう。星の子は見守られています。ありがとうございました。

ピアニスト野田あすかと母の40年実行委員長